

新市立病院 波田駅前建設へ

○問い合わせ 病院建設課 (波田支所4階 ☎92-6011 ㊟92-6021)

施設の老朽化や狭あい化のため新築移転を目指す、松本市立病院の建設地が、上高地線波田駅前の波田中央運動広場に決定しました。市議会9月定例会で、市立病院建設基本計画見直し骨子が承認され、今年度中に基本計画の策定を進めていきます。

波田中央運動広場は、現市立病院の立体駐車場に隣接し、向かいには上高地線の波田駅があるなど、交通の利便性が高い場所に位置しています。

また、周辺には市役所波田支所や小中学校、商業施設があるなど、地域の生活を支える施設が集積しています。

そうしたことから、新病院の建設を既存の公共施設や都市機能と有機的に結び付け、子どもからお年寄りまで行き交う西部の生活拠点を、地域の皆さんとともに作り上げていきます。

◆「波田中央運動広場」 選定のポイント

- ① 歴史的・文化的な中心地
- ② 交通ネットワークの拠点
- ③ 中山間地からのアクセス
- ④ 現病院施設の副次的利用
- ⑤ 妥当な建設スケジュール

【現在の市立病院】



至安曇・奈川地区



【現在の運動広場】



新病院の役割

・政策医療を担う西部地域の基幹病院

松本広域圏唯一の公立病院として、周産期医療、小児医療、へき地医療、感染症医療、救急医療などの政策医療を担います。



・地域密着型の在宅療養支援病院

地域密着型の在宅療養支援病院として、西部地域の地域包括ケアシステムの一翼を担います。



・全市的なフレイル予防センター

認知機能の予防も含めた全市的なフレイル（虚弱）予防センターとしての機能を新病院の特色とします。



新病院の規模・構造

〈病床数〉 199床 → **180床**
(一般174床・感染症6床)

〈個室割合〉 15% → **50%**

〈稼働率〉 **95%** を目標 (一般病床)

市民の皆さんの意見を取り入れて

地元説明会の他、多事争論会の開催、パブリックコメントの実施などで、多くの市民の皆さんの声をお聞きました。



(7月の多事争論会)

今後の進め方

- ・敷地内には、土砂災害特別警戒区域（通称：レッドゾーン）がありますが、適切な安全対策工事を実施し、土砂災害の発生を防止します。また、土砂災害警戒区域（通称：イエローゾーン）も含まれていますが、病院は安全性を確保した場所に建設します。
- ・波田中央運動広場の代替地は、市役所全庁をあげて取り組みます。
- ・行政、教育・保育、医療、買い物などの機能が集積する波田駅周辺については、市立病院の移転にあわせ、さらなる基盤整備を進め、都市機能を充実させていきます。

スケジュール（予定）	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
基本計画の策定	建設地決定 ➔					
基本設計・実施設計		➔				
建設工事				➔		開院 ★

令和8年度開院予定